

ヤマシャクヤク

Paeonia japonica

キンボウゲ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 II



種
子
植
物

低山地や山地の半陰地に生える高さ40～50cmの多年草。葉は互生の2回3出複葉。小葉は倒卵形で長さ10～18cmと大きく、裏面は帯白色。花期は4～5月、茎の先に直径5cmほどのおわん形をした花を上向きに半開する。県内の分布は散在するが、生育地での個体数は極めて少ない。森林伐採や人による採取で消滅した生育地がみられ、絶滅の危険性が高くなっている。

(写真・文：阿孫久見)

県内分布 英彦山・犬ヶ岳山地、津江山地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群、祖母・傾山地、北川上流域

分布域 本州、四国、九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）

国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう、瀬戸内海、耶馬日田英彦山、祖母傾]